

○ 開 議

◎議長（宮原真一君） おはようございます。これより本日の会議を開きます。

日程によりまして、甲第五十号議案について質疑に入りますが、質疑の通告はあっておりませんので、質疑なしと認めます。よって、質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

甲第五十号議案につきましては、委員会付託を省略したいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（宮原真一君） 御異議なしと認めます。よって、甲第五十号議案につきましては委員会付託を省略することに決定いたしました。

○ 討 論

◎議長（宮原真一君） 次に、上程中の議案について討論に入ります。

乙第六十一号議案について討論の通告があつておりますので、発言を許可いたします。

◎武藤明美君 登壇。おはようございます。日本共産党の武藤明美でございます。

私は、乙第六十一号議案「令和六年度佐賀県歳入歳出決算の認定について」、反対の立場から討論を行います。

令和六年度の佐賀県決算は、歳入で五千五百二十二億八千九百六十五万四千九百六十四円、歳出では五千四百十三億一千六百七十八万八千六百一十円となっています。歳入から歳出を差し引いた形式収支額は百九億七千二百八十六万六千九百三十三円です。そのうち、繰り越す事業の財源と

して繰り越すべき額四十九億五千六百八十万二千七百八十二円を除くと、実質収支額は六十億一千六百六万四千二百一十一円で、昭和五十一年以来四十九年間連続の黒字です。

歳入に関して申し上げますと、消費税清算金があります。物価高騰で苦しむ県民の多くが、消費税減税を望んでいるのに応えようという国、その姿勢が庶民への暮らしの負担として反映されています。

県債発行は、七百十九億五千三百七十万円、前年度より約二十二億円減ったとはいえ、後年度の財政運営に影響を及ぼします。

歳出としての公債費が五百九十七億五千九百八十六万二千七百九十四円あります。教育費、土木費、商工費に次ぐ四番目で、民生費より上回っていることは問題です。

県民生活の面では、県税、使用料手数料、諸収入の三分野で不納欠損額が九千十六万二千六百九十九円生じており、収入未済額でも、県税、使用料手数料、諸収入の三分野で十五億三千五十八万三千五百四十九円あることなどから、県民生活の苦しさが見えてまいります。

主な不用額で、総務費、農林水産費、民生費に見られますが、おおよその事業の傾向が分かった時期に減額補正などを行い、県民が求める事業に回したり、需用費などで不足しているものや、改修、改善など工夫をしていただきたいと思います。財政調整積立金を増やすために、決算での不用額が利用される形をとっているのではないかと思わざるを得ません。

財政の面で言えば、主な積立金にも触れます。

決算年度末の現在高で、財政調整積立金約百七十四億八千二百五十七万円、県債管理基金三百四十一億八千二百四十八万円あります。大規模

施設整備基金が百十二億二千五百五十一万円、この主要三基金で計六百二十八億九千五百六十万円です。前年度より約十九億円も増やしているんです。少し持ち過ぎているのではないかと思います。これらは、サンライズパークの借金返しや、今取り組んでいる県立大学など大型事業につぎ込まれていくことでしょう。

大型事業として言えば、新幹線長崎ルートに触れないわけにはいきません。武雄から新鳥栖間をフル規格で進めようとしきりに言う人たちがいますが、その方たちは、整備新幹線の前提条件となっている並行在来線の位置づけや、莫大な事業費六千二百億円に伴う県負担千四百億円など一顧だにされていないようです。この件については、知事のとっている立場、態度を評価し、激励いたします。

今、県民の暮らしはコロナ禍を過ぎてやっと光が見えているかというところではなく、物価高騰などで大変です。様々な暮らしの要求も渦巻いています。

教育現場のことを言えば、教員不足の解消とその対応は待ったなしです。近隣の県並みに人件費を引き上げてください。小中学校の三十人学級と高校の少人数学級、特別支援学級の一クラスの定員を減らし、一人一人の子供たちを大切にして、人権を守り、地域に根づく学校教育を進めていただきたいと思います。

保育や介護、医療分野に携わる人たちの処遇改善、それを行っていたくようお願いします。また、加齢による難聴者の補聴器購入への支援、国保介護の負担軽減など県民要求は切実です。学校給食費の無償化に取り組む市町を応援し、県として沖縄や東京、青森などのように頑張っていたきたいと思います。

今回の一般質問では、ひとり親家庭、重度心身障害者の医療費助成の現物給付方式が前進できると、見通しがある答弁をいただきましたが、命、暮らしを守る、地方自治体としてその役割を果たし、暮らしの願いに応えていただきたいと思います。

以上述べまして、令和六年度決算認定に当たって反対を表明し、討論を終わります。

◎議長（宮原真一君） 以上をもちまして、討論を終了し採決に入ります。

○ 採 決

◎議長（宮原真一君） 乙第六十一号議案を採決します。

これは、令和六年度歳入歳出決算の認定についての議案であります。

乙第六十一号議案についての委員長報告は認定であります。

本案に賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

◎議長（宮原真一君） 起立者多数と認めます。よって、乙第六十一号議案は認定されました。

ただいま議決いたしました議案を除く他の議案については、討論の通告はあっておりますので、討論なしと認めます。よって、直ちに採決に入ります。

まず、甲第四十六号議案を採決します。

これは、令和七年度一般会計補正予算（第五号）についての議案であります。

甲第四十六号議案についての委員長報告は可決であります。本案に賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

◎議長（宮原真一君） 起立者多数と認めます。よって、甲第四十六号議案は原案のとおり可決されました。

次に、甲第四十七号議案から甲第四十九号議案まで、以上三件の議案を一括して採決します。

以上三件の議案についての委員長の報告は可決であります。

本案に賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

◎議長（宮原真一君） 全員起立と認めます。よって、以上三件の議案はいずれも原案のとおり可決されました。

次に、甲第五十号議案を採決します。

本案に賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

◎議長（宮原真一君） 全員起立と認めます。よって、甲第五十号議案は原案のとおり可決されました。

次に、乙第六十三号議案から乙第八十九号議案まで、以上二十七件の議案を一括して採決します。

以上二十七件の議案についての委員長の報告は可決であります。

本案に賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

◎議長（宮原真一君） 全員起立と認めます。よって、以上二十七件の議案はいずれも原案のとおり可決されました。

次に、乙第九十号議案を採決します。

これは、教育委員会委員の任命についての議案であります。

乙第九十号議案についての委員長の報告は同意であります。
本案に賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

◎議長（宮原真一君） 全員起立と認めます。よって、乙第九十号議案は同意することに決定いたしました。

次に、乙第九十一号議案を採決します。

これは、土地利用審査会委員の任命についての議案であります。

乙第九十一号議案についての委員長の報告は同意であります。

本案に賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

◎議長（宮原真一君） 全員起立と認めます。よって、乙第九十一号議案は同意することに決定いたしました。

次に、乙第六十二号議案を採決します。

これは、令和六年度工業用水道事業決算の認定についての議案であります。

乙第六十二号議案についての委員長の報告は認定であります。
本案に賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

◎議長（宮原真一君） 全員起立と認めます。よって、乙第六十二号議案は認定されました。

○ 議 案 提 出

◎議長（宮原真一君） ただいま議長の手元に留守茂幸議員外三十三名から、議第三号議案「佐賀県議会議員の議員報酬等の支給に関する条例の一部を改正する条例（案）」が提出されました。

これは、皆様のお手元に配付いたしておりますとおりのものであります。

(議第3号議案)

○ 議 案 上 程

◎議長(宮原真一君) お諮りいたします。

議第三号議案を本日の日程に追加して議題といたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

「「異議なし」と呼ぶ者あり」

◎議長(宮原真一君) 御異議なしと認めます。よって、議第三号議案を本日の日程に追加して議題といたします。

お諮りいたします。

議第三号議案につきましては、提出者の説明を省略いたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

「「異議なし」と呼ぶ者あり」

◎議長(宮原真一君) 御異議なしと認めます。よって、議第三号議案につきましては、提出者の説明を省略することに決定いたしました。

これより議第三号議案について質疑に入りますが、質疑の通告はあつておりませんので、質疑なしと認めます。よって、質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

議第三号議案につきましては委員会付託を省略いたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

「「異議なし」と呼ぶ者あり」

◎議長(宮原真一君) 御異議なしと認めます。よって、議第三号議案につきましては委員会付託を省略することに決定いたしました。

これより議第三号議案について討論に入りますが、討論の通告はあつておりませんので、討論なしと認めます。よって、討論を終了し直ちに採決に入ります。

○ 採 決

◎議長(宮原真一君) 議第三号議案を採決します。

これは、県議会議員の議員報酬等の支給に関する条例の一部改正についての議案であります。

本案に賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

◎議長(宮原真一君) 起立者多数と認めます。よって、議第三号議案は原案のとおり可決されました。

○ 討 論

◎議長(宮原真一君) 次に、上程中の請願について討論に入ります。請第三号請願について討論の通告があつておりますので、発言を許可いたします。

◎武藤明美君 登壇 日本共産党の武藤明美でございます。

私は、請第三号請願「佐賀県の子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願」に賛成の立場から討論を行います。

子供は社会の宝として、一人一人に分かりやすい授業を、そのために

教育環境整備を、将来の社会を担う力をつけてもらいたいと思っています。

全ての子供たちにゆきとどいた教育の実現は、県民みんなの願いです。ここに提出されている請願書は、その願いをもとに教育予算の確保を求め安心して学べる学校づくりの思いが込められています。

請願項目の七つは何も難しいことを述べているわけではありません。子供たちが健やかに成長し、楽しく学べる環境をつくっていく私たち大人の責任、そして議会の責任が問われています。

井本知事時代に始まった三十五人以下学級を求める運動は全国に広がり、義務教育標準法を改正させる力となり、国の責任による小学校三十五人以下学級が前進しました。

しかし、OECDの平均である二十人程度の学級に比べ、日本の学級規模はまだ大き過ぎます。高等学校においても三十五人以下学級を実現することは、地域に存在する高校として、地域との交流活性化にもつなげる役割を持ちます。

小中学校、高校、特別支援学校では、教員の未配置も増えています。病気休暇や産前産後休暇、育児休暇の代替教員が見つからないなど、事態は深刻です。発達段階に応じた丁寧な指導を行っている特別支援学級でも、学級編制基準を現在の八人から六人へ引き下げることが求められています。この請願の趣旨、心から賛同します。

ぜひ、議場の皆さんにおかれても、佐賀県の教育がよその県並みに進展し、子供たちにとって豊かなゆきとどいた教育になるよう、賛成してください。心からお願いいたします。

以上、請願に対する賛成討論といたします。

◎議長（宮原真一君） 以上をもちまして、討論を終了し採決に入ります。

○ 採 決

◎議長（宮原真一君） 請第三号請願を採決します。

これは、佐賀県の子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願であります。

請第三号請願についての委員長の報告は不採択であります。本請願に賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

◎議長（宮原真一君） 起立者少数と認めます。よって、請第三号請願は不採択とすることに決定いたしました。

ただいま議決いたしました請願を除く他の請願については、討論の通告はあつておりませんので討論なしと認めます。よって、直ちに採決に入ります。

請第二号請願を採決します。

これは、私学助成の大幅増額・教育費の保護者負担の軽減・教育条件の改善をもとめる請願書であります。

請第二号請願についての委員長の報告は採択であります。

本請願に賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

◎議長（宮原真一君） 全員起立と認めます。よって、請第二号請願は採択することに決定いたしました。

○ 意 見 書 案 提 出

◎議長（宮原真一君） ただいま議長の手元に意見書案が三件提出され

ました。

これは、皆様のお手元に配付いたしておりますとおりのものであります。

（意見書案）

○ 意見書案上程

◎議長（宮原真一君） お諮りいたします。

意第十三号意見書案から意第十五号意見書案まで、以上三件の意見書案を本日の日程に追加して議題といたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎議長（宮原真一君） 御異議なしと認めます。よって、以上三件の意見書案を本日の日程に追加して議題といたします。

お諮りいたします。

意第十三号意見書案から意第十五号意見書案まで、以上三件の意見書案につきましては、議員全員の提出によるもので内容も判明いたしておりますので、提出者の説明及び委員会付託を省略いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎議長（宮原真一君） 御異議なしと認めます。よって、そのように決定いたしました。

これより意第十三号意見書案から意第十五号意見書案まで、以上三件の意見書案について討論に入りますが、討論の通告はあっておりますので、討論なしと認めます。よって、討論を終了し直ちに採決に入ります。

○ 採 決

◎議長（宮原真一君） 意第十三号意見書案から意第十五号意見書案まで、以上三件の意見書案を一括して採決します。

これは、医療・介護等の提供に係る物価・賃金の急激な上昇等に対応するための診療・介護報酬改定と財源確保を求める意見書案、脳脊髄液漏出症患者の救済を求める意見書案、太陽光発電設備のリサイクル等の推進及び適正な廃棄処理に関する意見書案であります。

以上三件の意見書案に賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

◎議長（宮原真一君） 全員起立と認めます。よって、以上三件の意見書案はいずれも可決されました。

○ 議員派遣

◎議長（宮原真一君） 次に、議員派遣の件を本日の日程に追加して議題といたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎議長（宮原真一君） 御異議なしと認めます。よって、議員派遣の件を本日の日程に追加して議題といたします。

お諮りいたします。

会議規則第二百二十九条の規定により、お手元に配付いたしておりますとおり、議員を派遣することに御異議ありませんか。

「「異議なし」と呼ぶ者あり」

◎議長（宮原真一君） 御異議なしと認めます。よって、そのように決定いたしました。

（議員派遣報告書）

◎議長（宮原真一君） お諮りいたします。

ただいま議決いたしました議員派遣の内容に今後変更を要するときは、その取り扱いを議長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

「「異議なし」と呼ぶ者あり」

◎議長（宮原真一君） 御異議なしと認めます。よって、そのように決定いたしました。

○ 継 続 審 査

◎議長（宮原真一君） 次に、会議規則第七十条の規定により、お手元に配付いたしております申出書のとおり、各委員長から議長宛て、それぞれ閉会中の継続審査申し出がありました。

（継続審査申出書）

◎議長（宮原真一君） お諮りいたします。

各委員長から申し出のとおり、閉会中の継続審査に付することに御異議ありませんか。

「「異議なし」と呼ぶ者あり」

◎議長（宮原真一君） 御異議なしと認めます。よって、そのように決定いたしました。

これで、今期定例県議会の全日程を終了いたしました。

ただいままでに議決されました各議案について、数字または字句等に誤りがありました場合は、会議規則第四十二条の規定によりまして、適宜議長の手元において訂正することに御承認を願っておきます。

○ 閉 会

◎議長（宮原真一君） これをもちまして、令和七年十一月定例県議会を閉会いたします。

この後、事務局長から発言がありますのでこのままお待ちください。

◎真坂議会議務局長Ⅱこれより、県議会議員として県勢の発展に寄与された六名の議員の方々に対し、知事から感謝状の贈呈がございます。このまま御着席をお願いいたします。

午前十一時二十三分 閉会

○ 永年勤続議員に対する知事感謝状贈呈

◎黒田秘書課長Ⅱただいまから佐賀県議会議員として長年にわたり県勢の進展に寄与されました方々に対し、知事感謝状の贈呈を行います。

お名前を読み上げますので前にお進みください。

石井秀夫様

武藤明美様

木原奉文様

池田正恭様

野田勝人様

西久保弘克様

お名前を呼ばれた方は知事の前にお進みください。

まず、三十年以上にわたり在職された方々でございます。

石井秀夫様。

◎山口知事Ⅱ

感謝状

佐賀県議会議員 石井秀夫様

あなたは佐賀県議会議員として在職三十年にわたり県勢の進展に寄与されその功績は誠に大なるものがあります

よってここに深く感謝の意を表します

令和七年十二月十六日

佐賀県知事 山口祥義

お疲れさまです。

〔山口知事 石井秀夫君に感謝状並びに記念品贈呈〕（拍手）

◎黒田秘書課長Ⅱ武藤明美様。

◎山口知事Ⅱ

感謝状

佐賀県議会議員 武藤明美様

あなたは佐賀県議会議員として在職三十年にわたり県勢の進展に寄与されその功績は誠に大なるものがあります

よってここに深く感謝の意を表します

令和七年十二月十六日

佐賀県知事 山口祥義

ありがとうございます。

〔山口知事 武藤明美君に感謝状並びに記念品贈呈〕（拍手）

◎黒田秘書課長Ⅱ木原奉文様。

◎山口知事Ⅱ

感謝状

佐賀県議会議員 木原奉文様

あなたは佐賀県議会議員として在職三十年にわたり県勢の進展に寄与されその功績は誠に大なるものがあります

よってここに深く感謝の意を表します

令和七年十二月十六日

佐賀県知事 山口祥義

ありがとうございます。

〔山口知事 木原奉文君に感謝状並びに記念品贈呈〕（拍手）

◎黒田秘書課長Ⅱ皆様、一歩ずつ前へお進みください。

続きまして、十年以上にわたり在職された方々でございます。

池田正恭様。

◎山口知事Ⅱ

感謝状

佐賀県議会議員 池田 正 恭 様

あなたは佐賀県議会議員として在職十年にわたり県勢の進展に寄与されその功績は誠に大なるものがあります
よってここに深く感謝の意を表します

令和七年十二月十六日

佐賀県知事

山 口 祥 義

ありがとうございます。

〔山口知事 池田正恭君に感謝状並びに記念品贈呈〕（拍手）

◎黒田秘書課長Ⅱ野田勝人様。

◎山口知事Ⅱ

感謝状

佐賀県議会議員 野田 勝 人 様

あなたは佐賀県議会議員として在職十年にわたり県勢の進展に寄与されその功績は誠に大なるものがあります
よってここに深く感謝の意を表します

令和七年十二月十六日

佐賀県知事

山 口 祥 義

ありがとうございます。

〔山口知事 野田勝人君に感謝状並びに記念品贈呈〕（拍手）

◎黒田秘書課長Ⅱ西久保弘克様。

◎山口知事Ⅱ

感謝状

佐賀県議会議員 西 久 保 弘 克 様

あなたは佐賀県議会議員として在職十年にわたり県勢の進展に寄与されその功績は誠に大なるものがあります
よってここに深く感謝の意を表します

令和七年十二月十六日

佐賀県知事

山 口 祥 義

お疲れさまです。ありがとうございます。

〔山口知事 西久保弘克君に感謝状並びに記念品贈呈〕（拍手）

◎黒田秘書課長Ⅱ感謝状を授与された皆様は自席へお戻りください。
以上をもちまして、感謝状贈呈式を終わります。ありがとうございます。
した。

議事課副課長

高 田 一 弘

同 議事・記録担当主査

松 尾 重 治

同 議事・記録担当会計年度任用職員

石 丸 宏 子